7

法情報

「法律」をかじってみる。

法情報とは

法律は成立するまでに長い時間がかかります。問題が社会に認識され、議論され、内閣や議員によって法案が作成され、国会で審議され、多数の支持が得られれば、法律として成立します。つまり、ある法律を理解するためには、その目的や審議の内容を知る必要があります。

加えて、その法律に則って、どのように行政が行われているのか、関連する問題に対して、裁判所がどのような決定をしたのかも必要となるでしょう。

法情報は、この過程全てに関わる情報で、常に変化し続ける情報です。

本

教科書から専門書まで、最も基本的なツール。
一般的な法学の本は、３２０の棚にあります。

法律用語辞典

法律用語は日常の言葉とは異なる意味や、特有の使い方があるので、法律用語辞典は必携です。

冊子体：２階参考図書コーナー
オンライン：『JapanKnowledge』

新聞

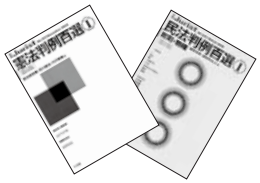
社会情勢を知る重要なツール。
法律に関するニュースも日々掲載されています。

判例集

判例百選（ジュリスト別冊）

講義やゼミで最もよく使われる基本的な判例集。
「憲法」や「民法」など分野別に発行されています。

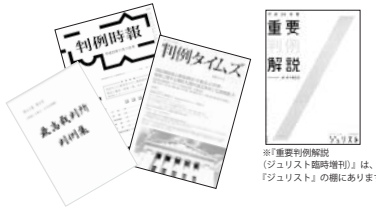
過去１～２年：２階雑誌コーナー ※『ジュリスト』の棚
それ以前：雑誌館（１階カウンター受付）
サイバーライブラリカウンター



判例雑誌

『最高裁判所判例集（民事 / 刑事）』や、『判例時報』『判例タイムズ』など、重要な法律判断がされた判例が掲載される雑誌。

過去１～２年：２階雑誌コーナー
バックナンバー：雑誌館（１階カウンター受付）



※『重要判例解説（ジュリスト臨時増刊）』は、『ジュリスト』の棚にあります。

※本として発行される判例集は、一般書架にあります。

雑誌

学部生には『法学教室』や『法学セミナー』など、法学を学ぶ人向けの雑誌がおすすめです。
他にも、『ジュリスト（Jurist）』や『法律のひろば』など実務家向けの雑誌があります。

過去１～２年：２階雑誌コーナー
バックナンバー：雑誌館（１階カウンター受付）

法学の本の配架場所

法律・法学の本は、主に図書館１階３２０番代に分類されています。ここには、概説書や体系書、法学全般にかかる本があります。

体系書とは、基本原理や基礎理念を論理的に順序立てて解説した本で、事典のように使うことができます。体系書は、たとえば、「民法総論」「刑法各論」というように、法律名がタイトルに入っていることが多いです。

各分野の法に関する本は、各分野に分類されます。たとえば、労働法の本は３６６に、環境問題なら５１９にあります。

法学は全ての分野に広く関わっています。文献収集には、蔵書検索システムや、法律判例文献データベース『D1-Law』、本や論文の参考文献情報など様々なツールを活用してください。

版表示

本は、タイトルはそのままに、内容を一部改訂して出版されることがあります。こういった場合、以前の「版」と区別するために、「新版」や「第６版」といった、版表示が付けられます。

特に法律は度々改正されるので、法学の基本書籍は、頻繁に新しい版が出版されます。改正前に発行された本は使えない、ということもあるので、版表示だけでなく出版年にも注意が必要です。

D1-Law（第一法規法情報総合データベース）

現行法規と法律判例文献情報が検索できるデータベースです。

●法律判例文献情報

検索結果には、本、雑誌、判例雑誌、新聞など様々な形態の資料が混在しています。
本や雑誌が甲南大にあるかは、『いろいろでぃすかばりー』で再検索してください。
新聞記事は、新聞記事データベースが便利です。

●現行法規（現行法検索）

現行法は、『e-Gov』（無料公開）でも検索できますし、アプリなどもありますが、『D1-Law』では、改正履歴も確認できます。

行政資料（白書・統計）

政府や各省庁、地方自治体による政策に関する資料や、統計は原則インターネットで公開されます。、古いものは一部甲南大学図書館にもありますが公文書館や国立国会図書館、都道府県立図書館に保存されており、電子化されて公開されているものもあります。

■ 白書

白書とは、政府や各省庁が所管の行政活動の現状、問題、対策、将来の展望などを国民に報告するための資料であり、社会問題の現状を掴める基本的な資料です。

たとえば、厚生労働省の『厚生労働白書』、防衛省の『防衛白書』、経済産業省の『通商白書』『エネルギー白書』、総務省の『情報通信白書』など、多数発行されています。

白書は各省庁のＨＰで公開されていますが、『e-Gov』からまとめて確認できます。

●e-Gov（イーガブ）電子政府の総合窓口
政府と各省庁が発表する情報のポータルサイト。法令、白書などの刊行物、公表資料などが利用できます。

■ 政府統計

政府と各省庁が、政策の指針とするために収集したデータです。人口動態や賃金、生産量、物流など様々な情報が収集されています。

統計は収集した各省庁のＨＰで公開されていますが、『e-Stat』で横断検索ができます。利用するときは、どこがいつ収集したデータかを確認してください。

●e-Stat 政府統計の総合窓口

■ 国際統計、民間統計

諸外国や国際機関もインターネットでの情報公開が進んでいますが、各国の基本データは、データベース『ブリタニカ・オンライン・ジャパン』の「国際年鑑」からも入手できます。

また、経済統計は『日経テレコン』からも入手できます。民間のマーケティング会社によるデータが、本として発行される場合もあります。